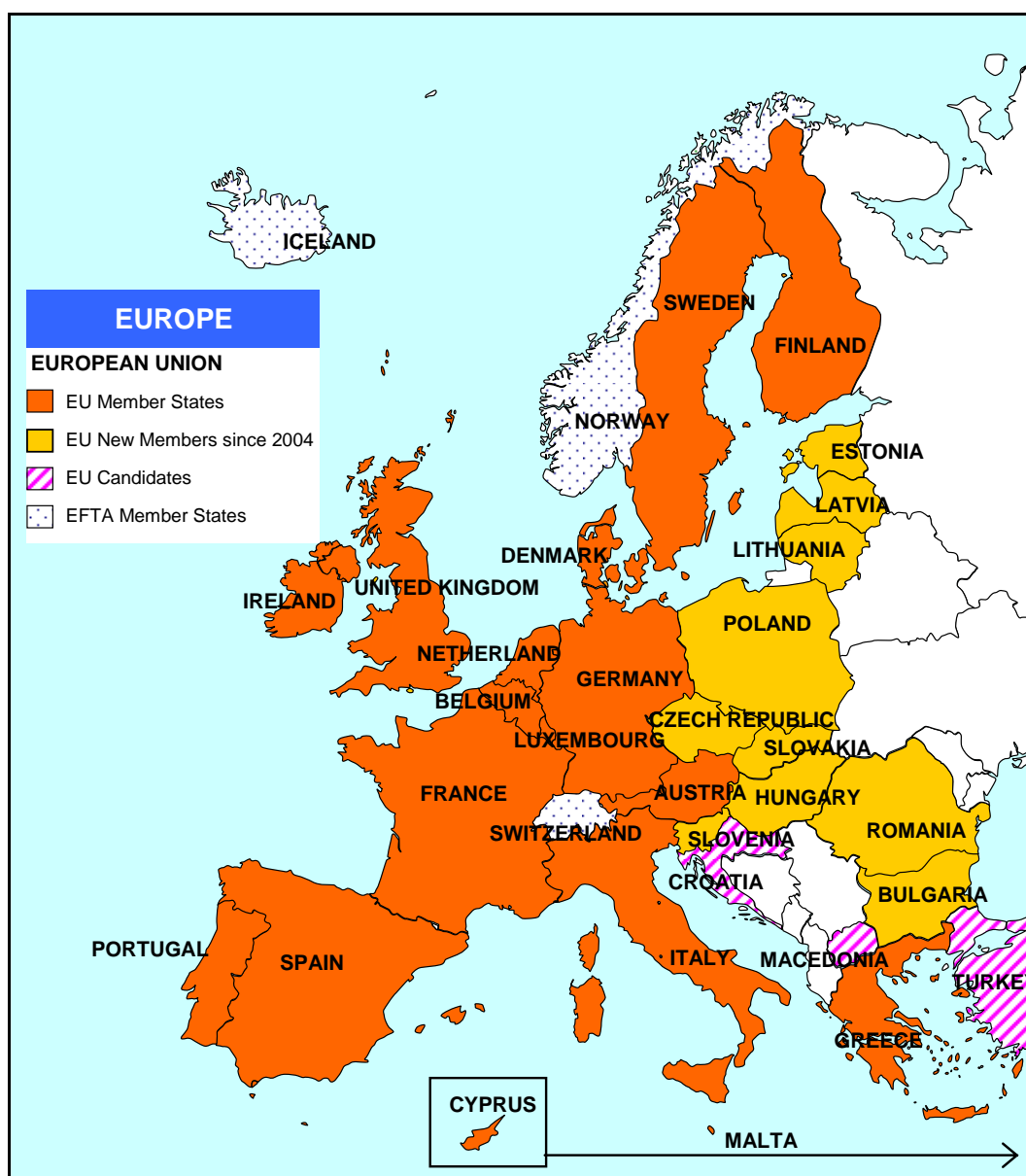


2013年4月22日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2013.4)

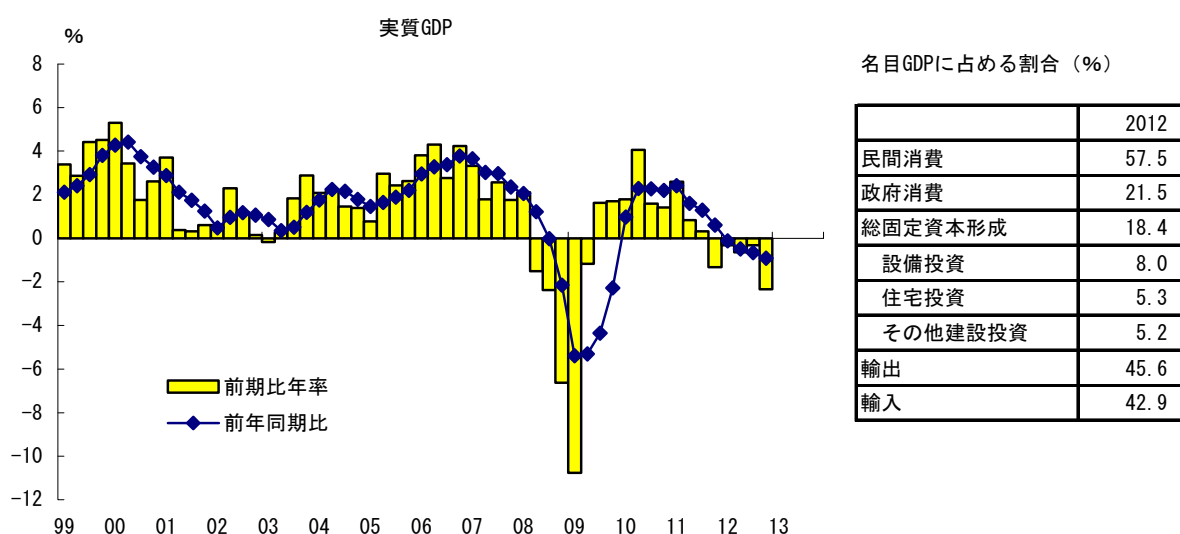
経済調査部  
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

## ユーロ圏 GDP

- 12年Q4のGDP成長率（3次推計）は前期比-0.6%、12年通年では前年比-0.6%と2次推計から変更なし
- 12年Q4の政府消費は前期比+0.1%とプラス成長に修正。需要項目別では唯一の前期比プラス
- 輸出は前期比-0.8%と0.1%pt上昇修正され、純輸出の前期比寄与度は2次推計の-0.05%から+0.01%とプラスになった



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.4	1.0	0.4	0.4	0.6	0.2	0.1	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.6
個人消費	0.2	0.2	0.2	0.5	-0.0	-0.5	0.3	-0.7	-0.2	-0.5	-0.2	-0.5
政府消費	-0.3	0.1	0.3	-0.1	-0.3	0.0	-0.1	0.0	-0.1	-0.3	-0.1	0.1
総固定資本形成	-0.4	1.9	0.2	-0.6	1.9	-0.2	-0.4	-0.5	-1.4	-1.6	-0.8	-1.2
設備投資	1.7	2.8	1.5	1.1	1.4	0.6	0.4	-0.6	-1.1	-1.4	-1.2	-1.4
住宅投資	-0.2	1.9	-0.6	-1.8	2.9	-0.7	-0.7	-0.7	-0.8	-1.6	-0.2	-1.4
その他建設投資	-3.3	0.6	-0.7	-1.9	1.9	-0.9	-1.1	-0.3	-2.4	-2.0	-0.7	-0.7
輸出	2.8	4.5	2.0	2.0	1.7	0.5	1.3	0.0	0.5	1.7	0.9	-0.8
輸入	3.3	4.1	1.4	1.7	1.3	0.1	0.5	-1.2	-0.4	0.6	0.1	-0.9

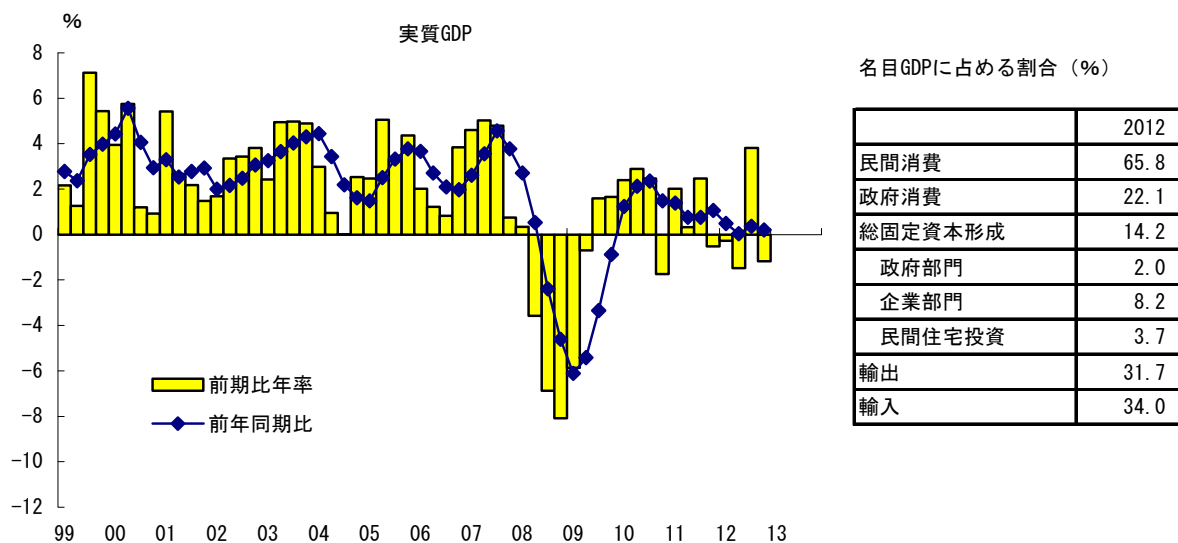
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.44	1.00	0.39	0.35	0.64	0.21	0.08	-0.33	-0.08	-0.16	-0.08	-0.59
個人消費	0.11	0.12	0.14	0.29	-0.02	-0.27	0.15	-0.40	-0.13	-0.29	-0.09	-0.26
政府消費	-0.07	0.02	0.07	-0.02	-0.06	0.00	-0.02	0.00	-0.02	-0.06	-0.02	0.02
総固定資本形成	-0.07	0.36	0.05	-0.11	0.36	-0.04	-0.07	-0.10	-0.26	-0.30	-0.14	-0.22
設備投資	0.14	0.23	0.13	0.09	0.12	0.05	0.03	-0.05	-0.10	-0.12	-0.10	-0.12
住宅投資	-0.01	0.10	-0.03	-0.10	0.2	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.08	-0.01	-0.07
その他建設投資	-0.18	0.03	-0.04	-0.10	0.09	-0.05	-0.06	-0.02	-0.12	-0.09	-0.03	-0.03
在庫変動	0.63	0.27	-0.11	0.05	0.17	0.33	-0.34	-0.34	-0.09	0.02	-0.21	-0.14
輸出	1.08	1.82	0.82	0.84	0.72	0.23	0.58	0.00	0.23	0.74	0.43	-0.36
輸入	-1.25	-1.58	-0.56	-0.70	-0.52	-0.04	-0.20	0.51	0.18	-0.26	-0.05	0.37
純輸出	-0.17	0.24	0.26	0.15	0.20	0.20	0.38	0.51	0.40	0.48	0.38	0.01

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 GDP

- 12年Q4のGDP成長率（3次推計）は前期比-0.3%と2次推計と変わらず。12年通年では前年比+0.3%に上方修正
- 総固定資本形成の民間住宅投資はQ3の前期比-6.1%からQ4に同-2.6%となり、マイナス幅が縮小
- 2次推計と比べて輸出は前期比マイナス幅がやや拡大、輸入はマイナス幅が縮小。純輸出のマイナス寄与は-0.20%に拡大した



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.6	0.7	0.6	-0.4	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.1	-0.4	0.9	-0.3
個人消費	-0.0	1.0	-0.1	0.3	-1.0	-0.2	-0.2	0.4	0.3	0.7	0.2	0.3
政府消費	-0.2	0.1	-0.7	-0.1	-0.3	0.5	-0.0	0.3	2.9	-1.7	0.3	0.6
総固定資本形成	5.1	-2.7	2.8	-1.7	-2.4	-0.2	0.6	-0.3	0.5	1.7	-0.4	-0.2
政府部門	12.5	-14.4	0.1	0.4	-17.8	-9.4	3.7	-6.1	8.7	-5.9	6.6	3.8
企業部門	8.0	-5.8	3.6	-0.5	-1.9	4.7	2.2	2.3	-0.2	1.6	0.2	-0.8
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.2	-5.2	-3.1	-2.7	-1.5	6.7	-6.1	-2.6
輸出	-0.4	4.0	0.9	3.3	1.3	-1.8	-0.2	3.1	-1.5	-1.1	1.8	-1.6
輸入	2.0	2.9	2.1	1.5	-2.9	-0.7	0.6	1.4	0.6	1.3	0.3	-1.0

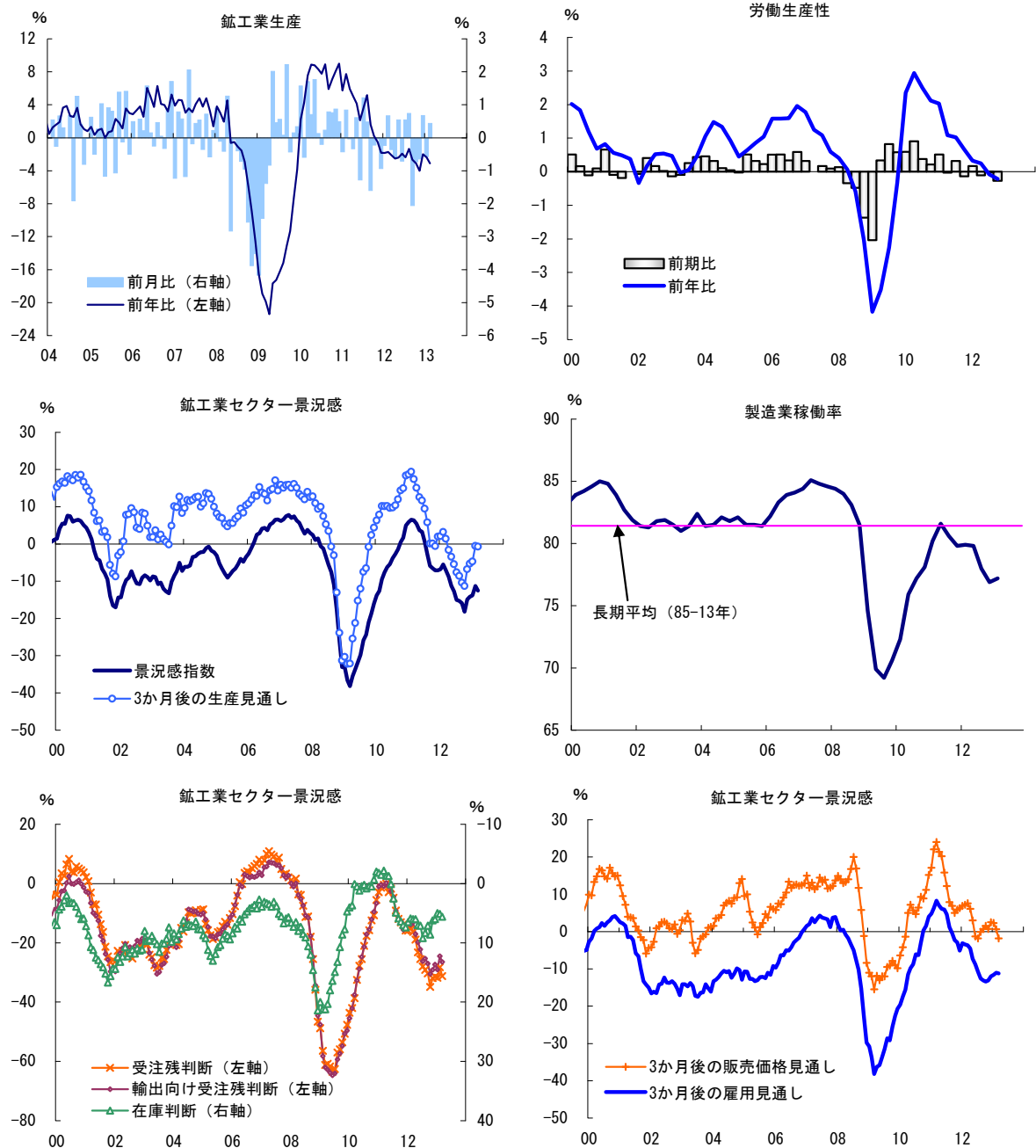
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.59	0.71	0.61	-0.43	0.50	0.08	0.61	-0.13	-0.07	-0.37	0.94	-0.29
個人消費	-0.01	0.61	-0.09	0.19	-0.67	-0.10	-0.15	0.25	0.20	0.43	0.14	0.20
政府消費	-0.04	0.03	-0.17	-0.02	-0.07	0.11	-0.01	0.06	0.66	-0.40	0.08	0.13
総固定資本形成	0.76	-0.41	0.41	-0.26	-0.36	-0.03	0.09	-0.04	0.07	0.24	-0.07	-0.03
政府部門	0.34	-0.44	0.00	0.01	-0.47	-0.20	0.07	-0.12	0.16	-0.12	0.13	0.08
企業部門	0.62	-0.48	0.28	-0.04	-0.15	0.37	0.18	0.19	-0.02	0.14	0.02	-0.07
民間住宅投資	-0.07	0.47	0.14	-0.21	0.34	-0.23	-0.13	-0.11	-0.06	0.26	-0.26	-0.10
在庫変動	0.32	0.23	0.84	-0.86	0.06	0.38	0.93	-0.85	-0.26	0.19	0.40	-0.39
輸出	-0.13	1.16	0.27	0.99	0.41	-0.57	-0.06	0.95	-0.48	-0.35	0.55	-0.51
輸入	-0.61	-0.90	-0.66	-0.49	0.96	0.23	-0.20	-0.45	-0.18	-0.41	-0.11	0.32
純輸出	-0.74	0.25	-0.39	0.50	1.37	-0.34	-0.25	0.50	-0.66	-0.76	0.44	-0.20

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比+0.4%と反発したが、前年比では-3.1%と低迷が続く
- 3月の鉱工業セクター景況感は5か月ぶりに前月比悪化となり、改善傾向がストップ
- 内訳でも、3か月後の生産見通し、受注残判断、在庫判断ともに前月比悪化となった

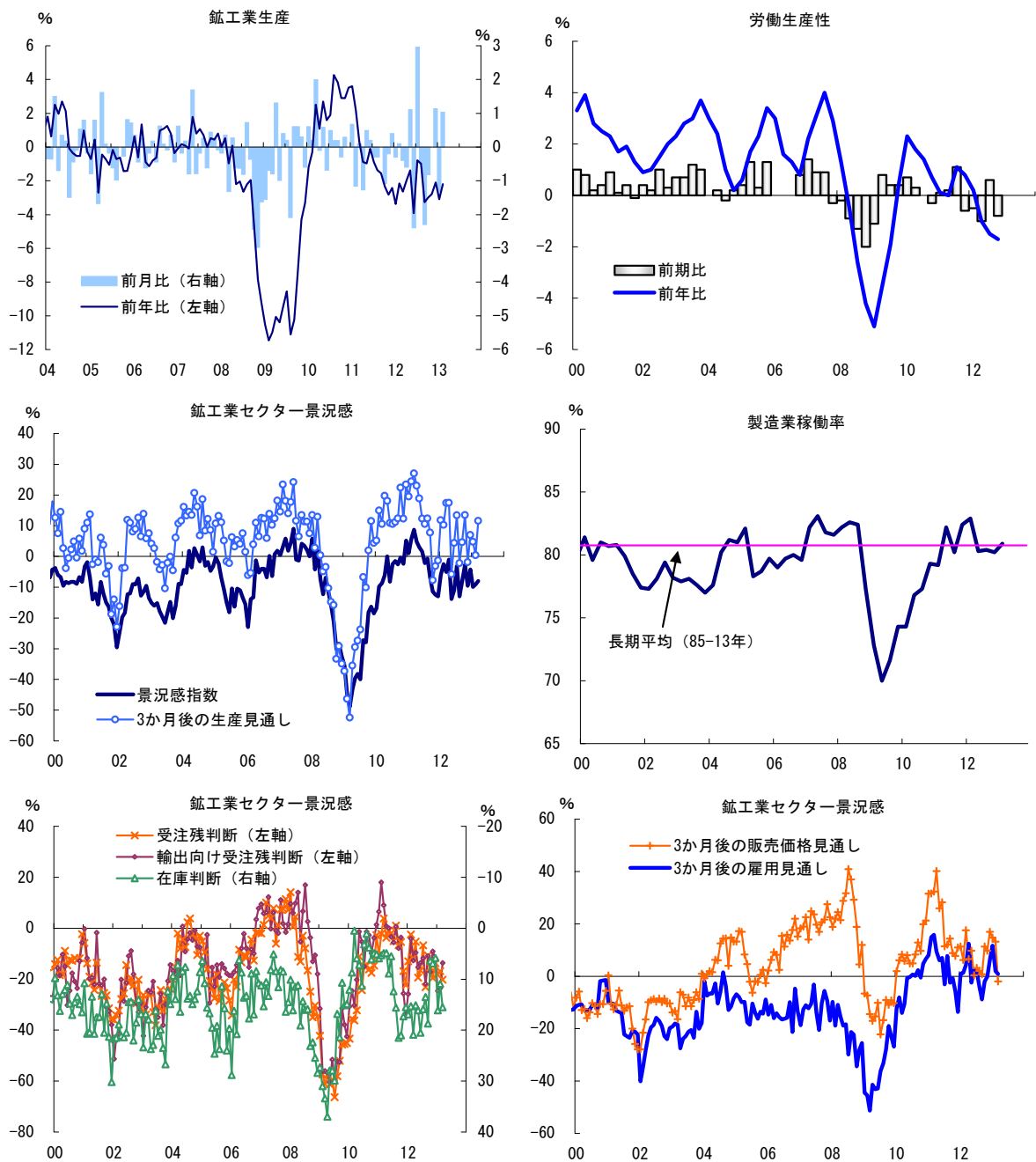


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比+1.0%、前年比-2.2%。前年比では全セクターで前年割れとなり、特に鉱業・採石セクターの減少が顕著であった
- 3か月後の生産見通しが改善したため、3月の鉱工業セクター景況感はやや改善。しかし、受注残判断と在庫判断は悪化
- 13年Q1の製造業稼働率は80.9%となり、1年ぶりに長期平均を上回った。12年Q4の労働生産性は前期比で再びマイナスに転落。前年比での低下は継続

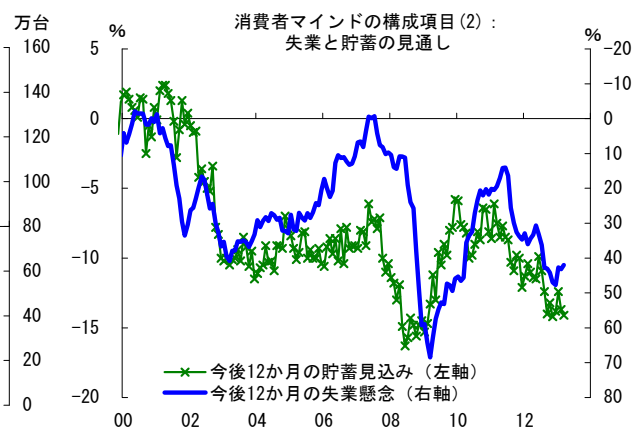
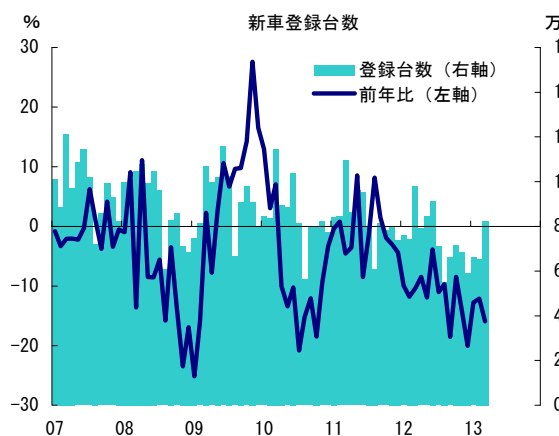
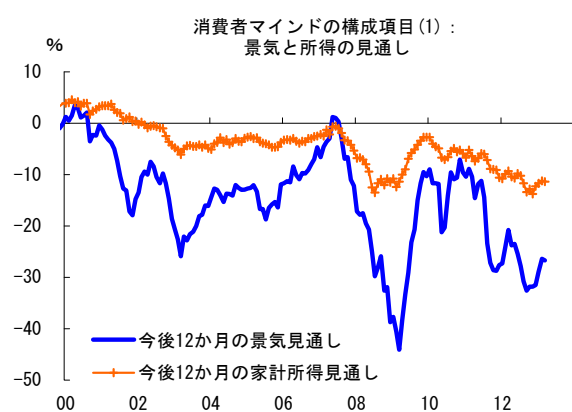
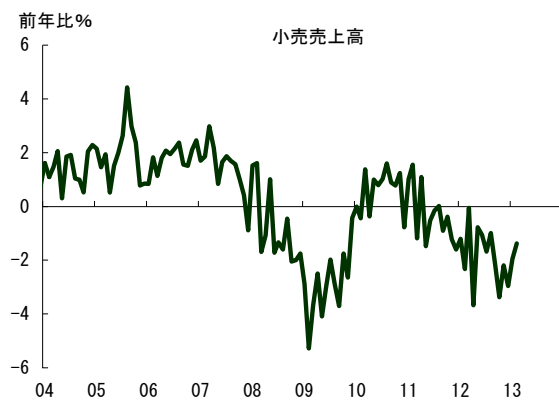
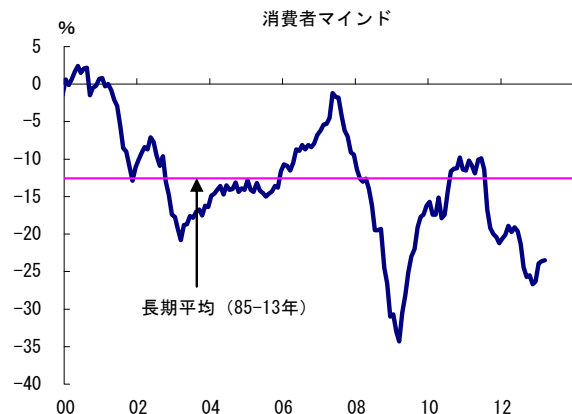
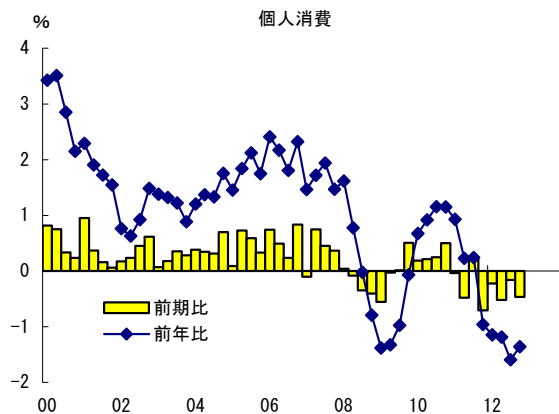


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 2月の小売売上高は前年比-1.4%と前年割れが続く
- 3月の消費者マインドはこれまでの改善傾向がストップ。今後12か月の景気見通しも前月比でやや悪化に転じた
- 3月の新車登録台数は前年比-15.9%の82万4千台。前年比マイナス幅は拡大

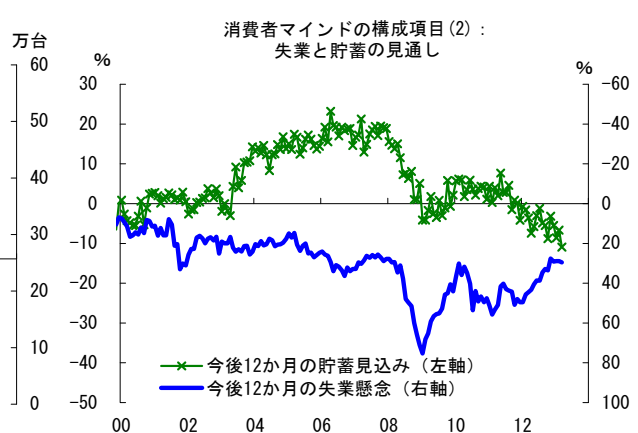
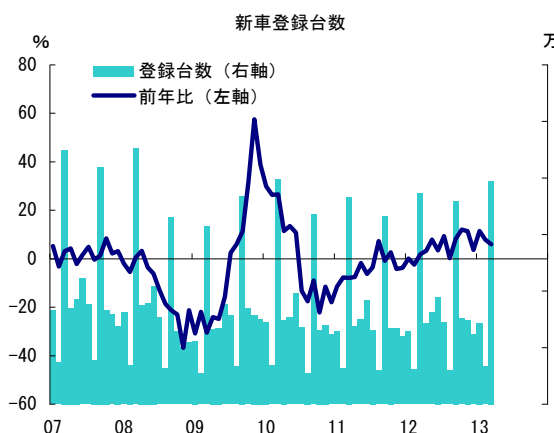
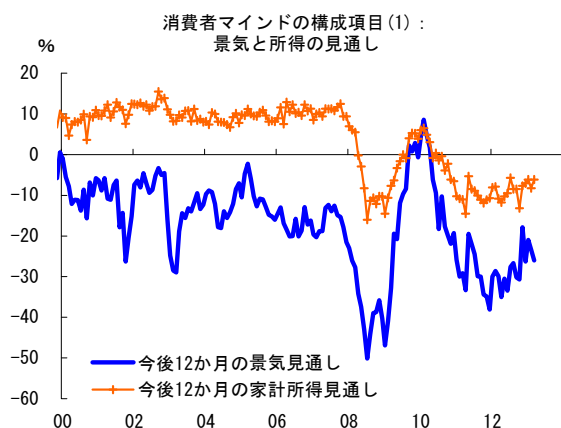
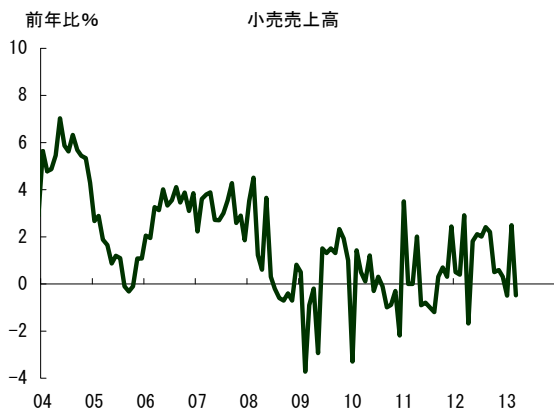
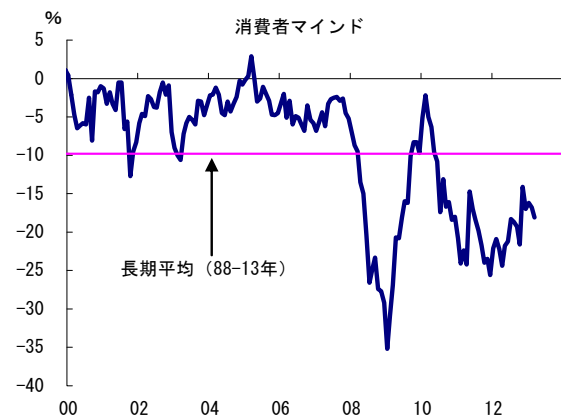
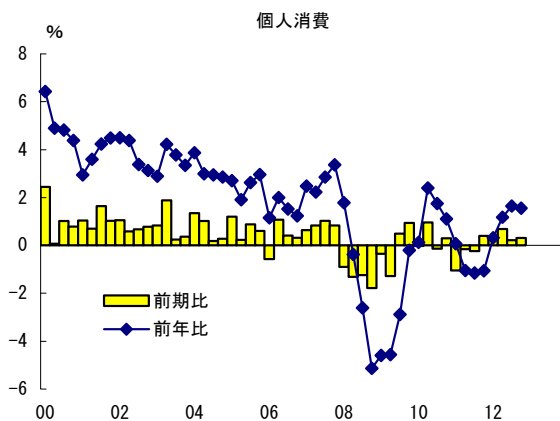


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 3月の小売売上高は前年比-0.5%と2月の同+2.5%から前年割れに転じた。3月は過去2番目に気温が低かったため春物の服飾・日用品が不振で、非食品セクターを押し下げた
- 今後12か月の景気見通しが前月比で悪化したため、3月の消費者マインドは2か月連続の悪化となった
- 3月の新車登録台数は前年比+5.9%。台数は39万5千台と高水準

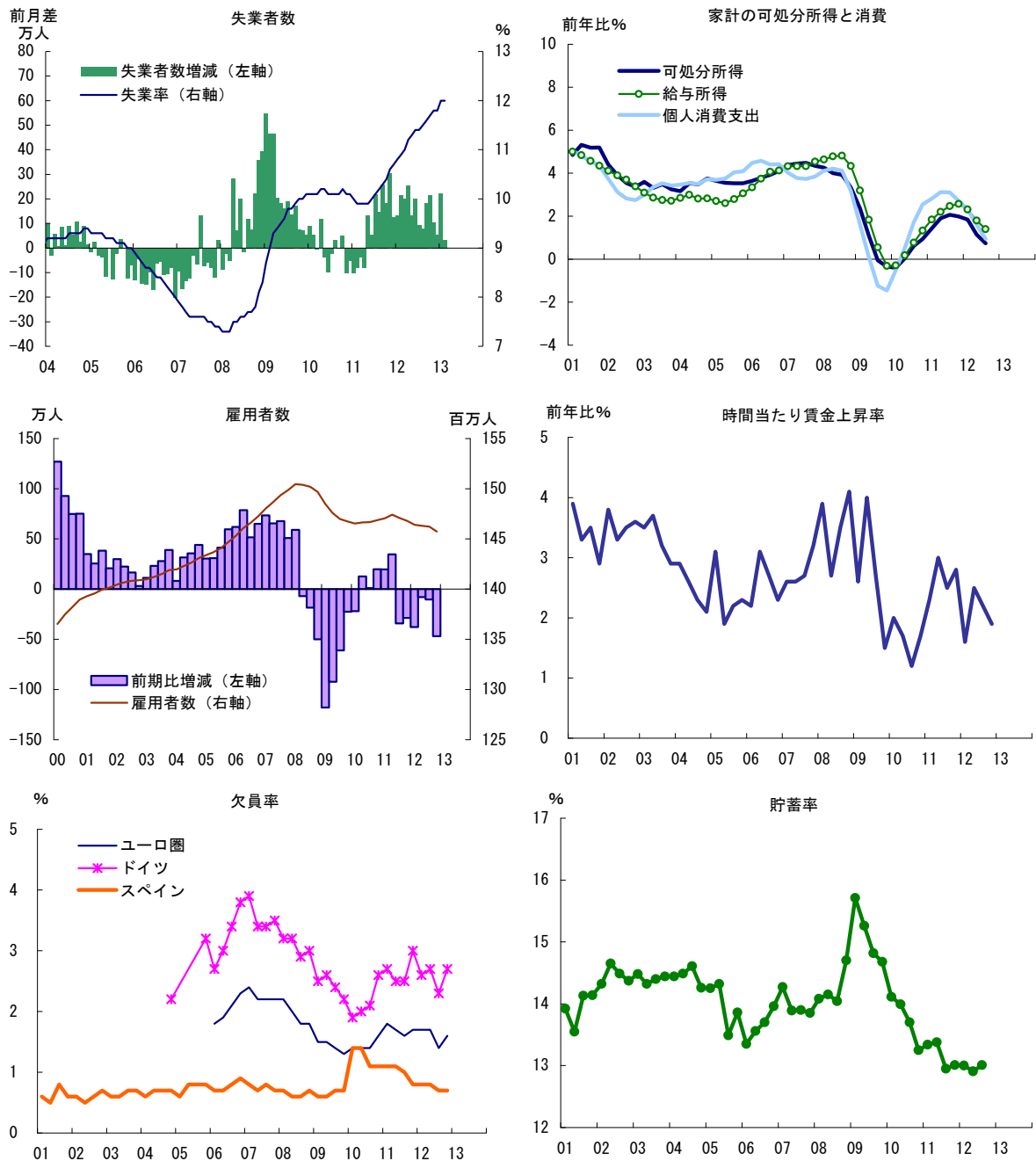


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 2月の失業率は12.0%と2か月連続でユーロ導入以来最悪の水準
- ただし、失業者数は前月比3万3千人の増加と1月から増加幅が大きく縮小
- 24歳以下の失業者数は前月比で減少に転じた



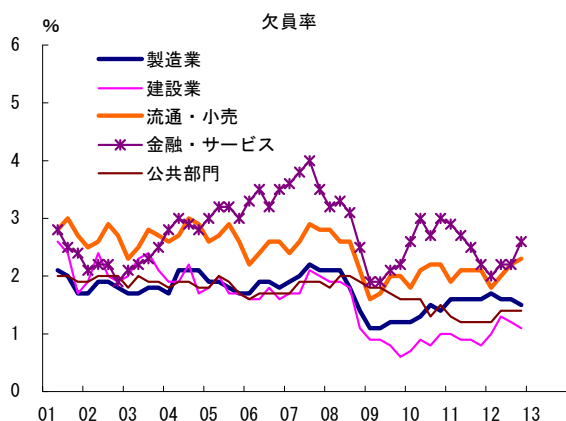
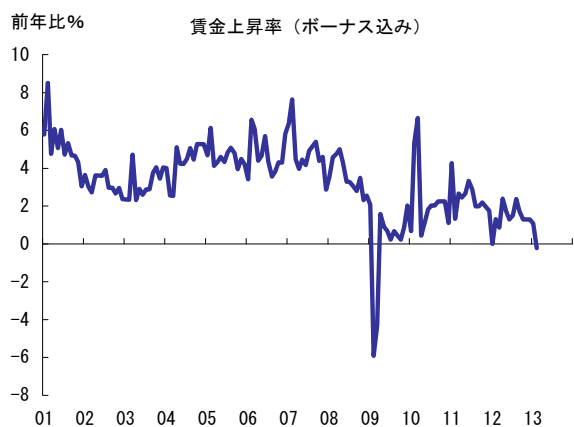
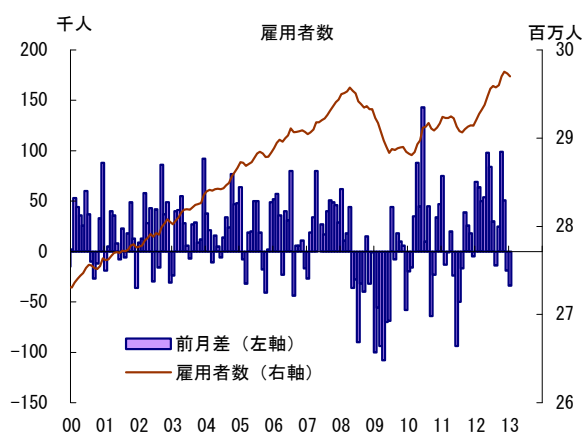
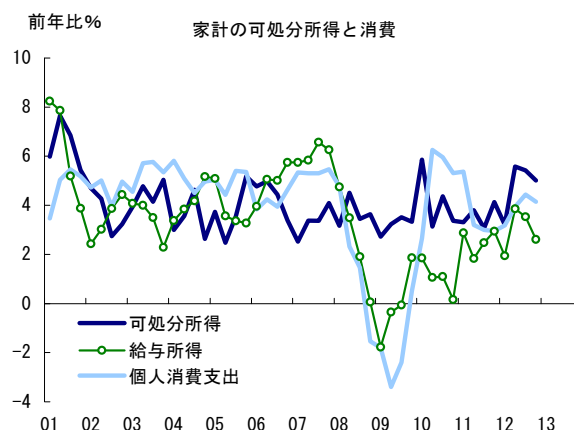
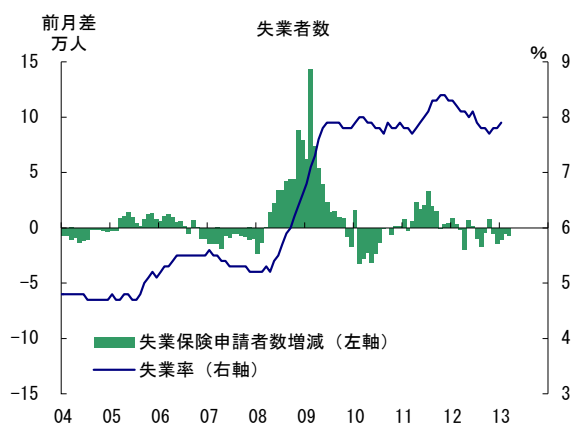
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) =  $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 12-2月の失業率は7.9%で11-1月より上昇し、雇用者数は同3万4千人減少。労働力人口の増加も失業率上昇の一因となっている
- Q4の家計の可処分所得、給与所得は前年比伸び率が鈍化。2月の賃金上昇率も09年3月以来の前年割れに転じており、所得の伸び悩みが明確となった
- Q4の個人消費支出も前年比伸び率が縮小したが、縮小幅は限定的。貯蓄率が6.7%とQ3の7.9%から低下した

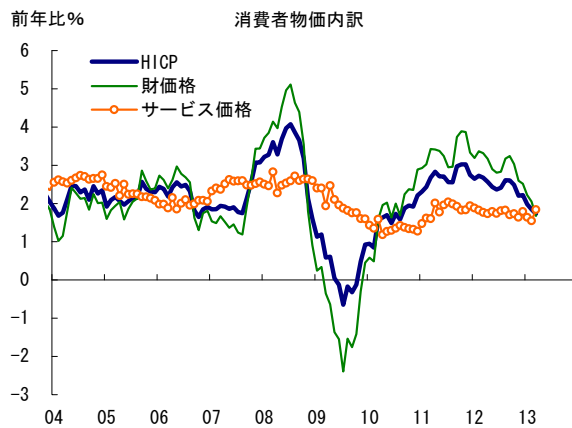
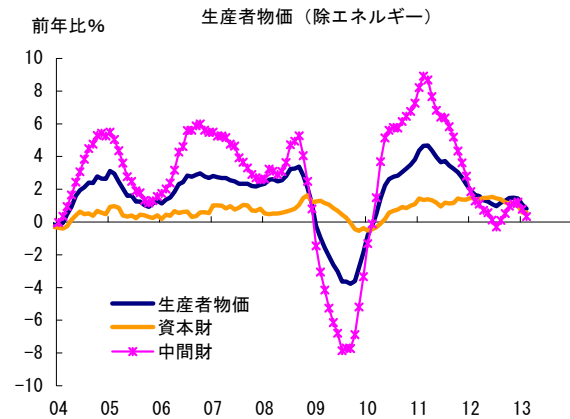
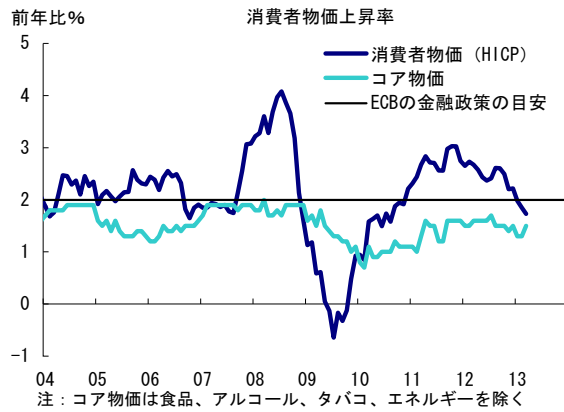


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

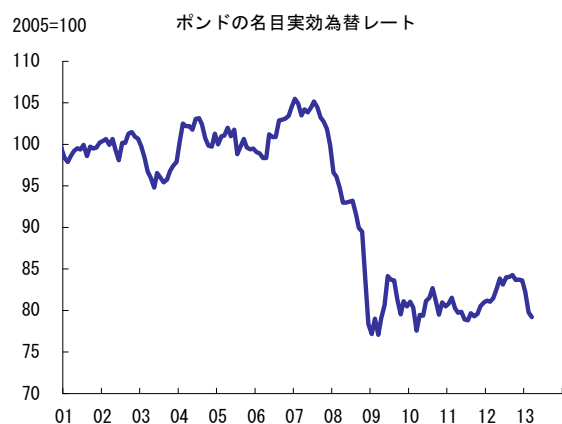
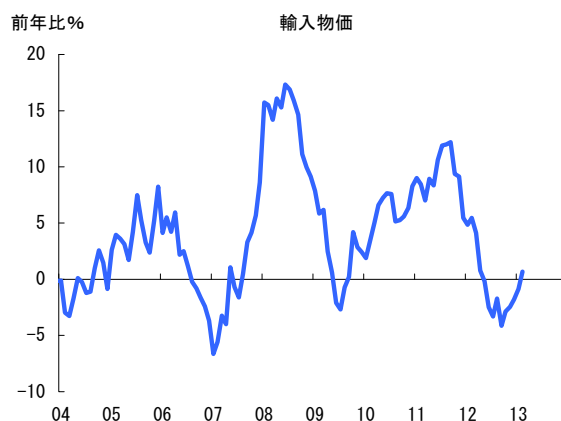
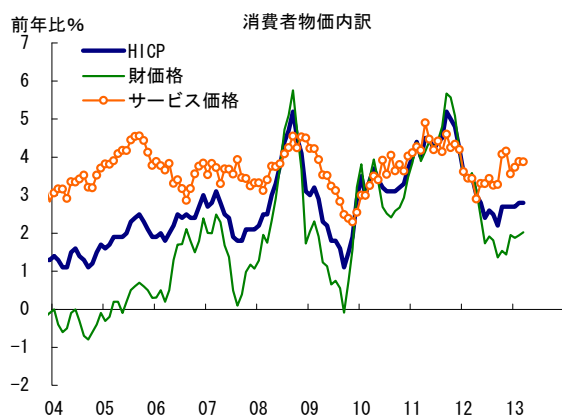
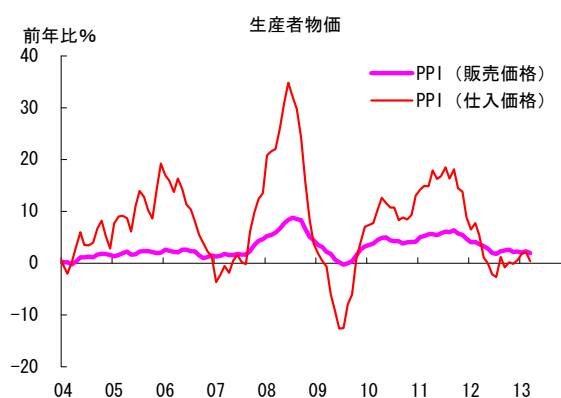
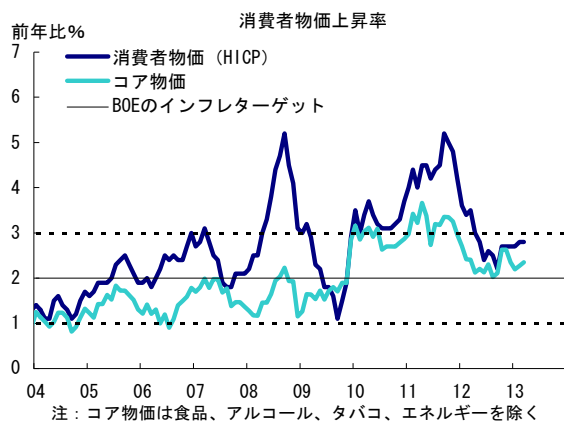
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.7%。2月の同1.9%から更に低下
- 2月の生産者物価は前年比+0.8%。中間財の伸び率は縮小し、低下傾向が鮮明となった
- 2月の独輸入物価は前年比-1.6%と2か月連続の前年割れ。3月のユーロの名目実効為替レートは前月比で低下し、12年9月からの上昇傾向がストップ



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

## 英国 物価

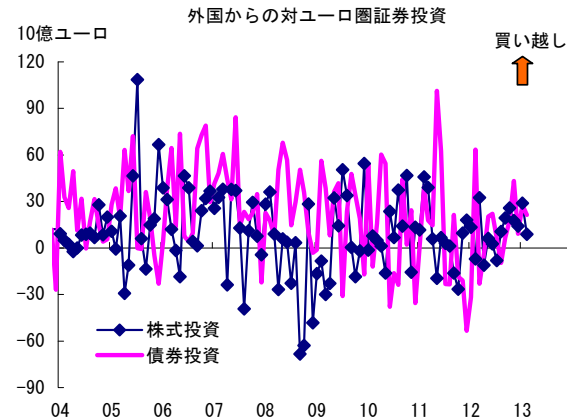
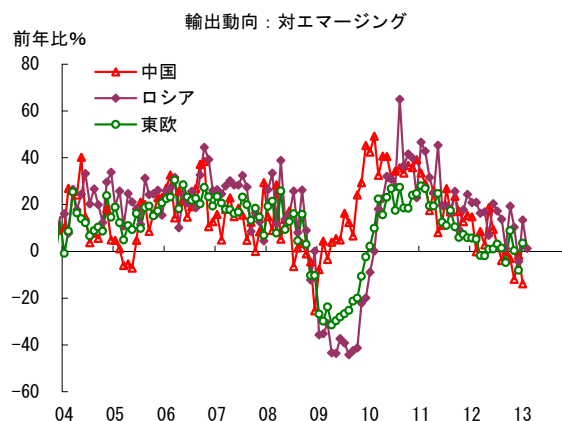
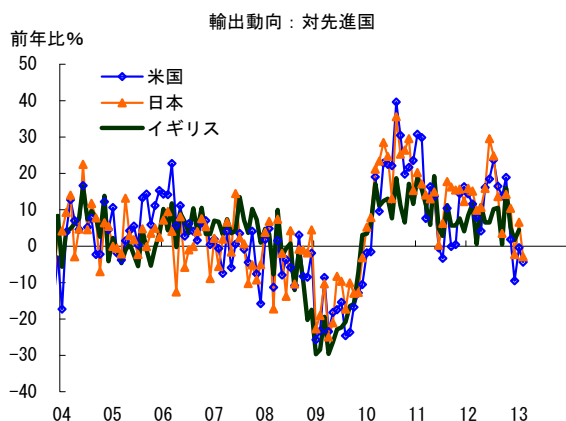
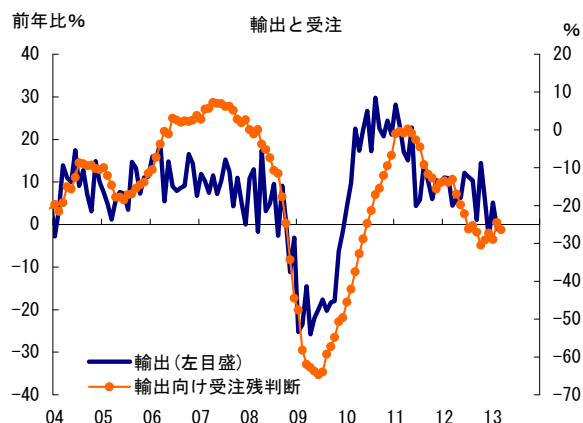
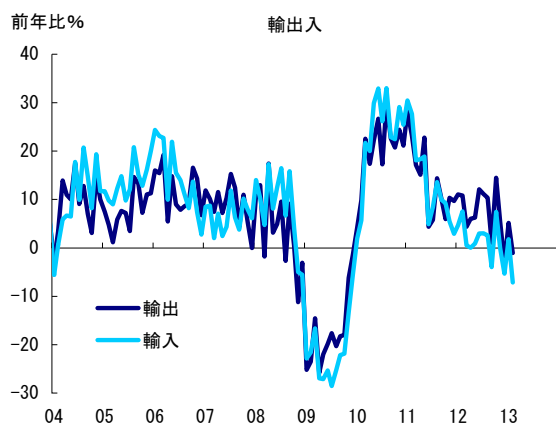
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.8%と2月から変わらず
- 3月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+2.0%、仕入価格は同+0.4%。仕入価格伸び率が2月と比べて縮小しているのは、石油価格及び輸入材料の価格下落によるもの
- 2月の輸入物価上昇率は前年比+0.7%と12年10月以来初めて前年割れから脱出。3月のポンドの名目実効為替レートは前月比で低下し、下落傾向が継続



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

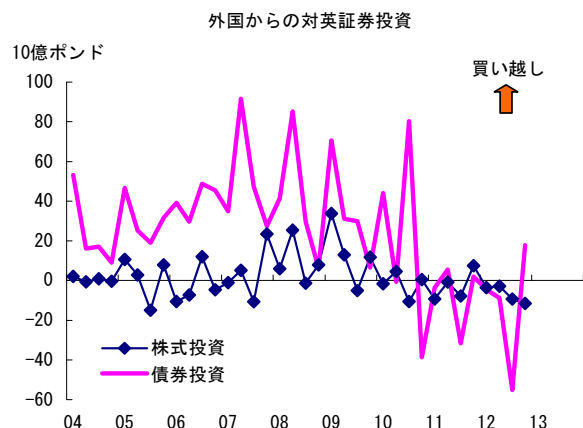
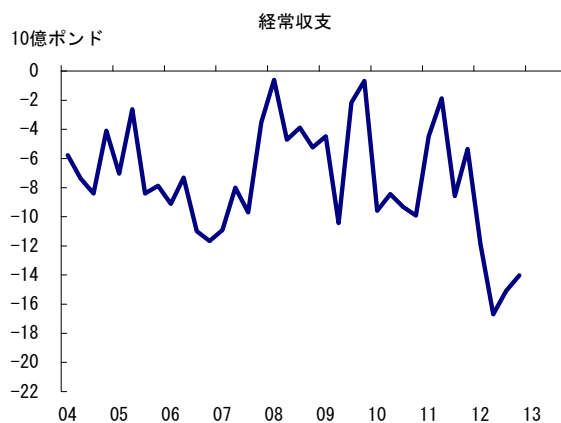
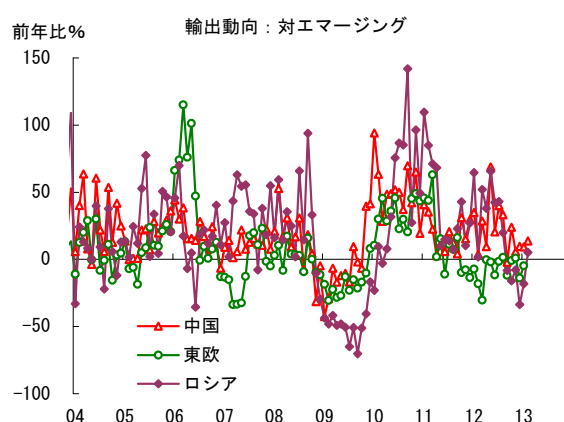
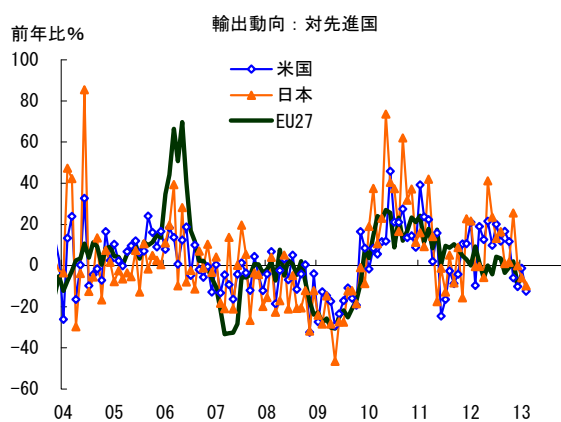
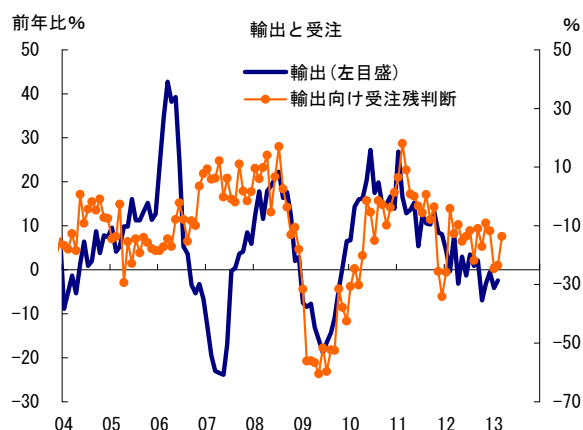
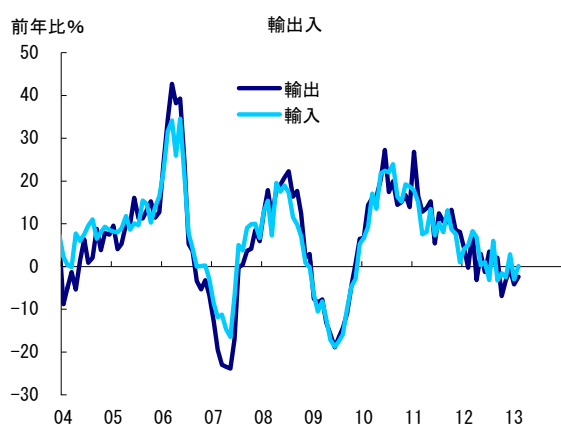
- 2月の輸出は前年比-1.1%、輸入は同-7.2%と共に前年割れ。3月の輸出向け受注残判断は前月比悪化
- 2月の経常収支は121億ユーロの黒字。貿易収支が1月の赤字から黒字に転換したため
- 2月の外国からの対ユーロ圏証券投資は株式投資が1月より減少するも、6か月連続で株式・債券投資がそろって買い越し



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 2月の輸出は前年比-2.4%、輸入は同+0.1%。輸入が前年割れを回避したのは、石油及び燃料の減少幅が縮小したため。3月の輸出向け受注残判断は前月比で回復
- Q4の経常収支赤字は140億ポンドとQ3の151億ポンドから縮小。貿易収支赤字は拡大したが、所得収支が黒字に転換したのが主要因
- Q4の外国からの対英証券投資は、債券投資がQ3の過去最大の流出から買い越しに転じた。12年通年では、債券投資と株式投資を合わせた売り越し金額が11年からほぼ倍増



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成